

技術ノート KGTN 2016090501

現象

[GGH5.X/ExPack] 拡張パックの GGEasyMonitor の振分け機能で、〈ドメイン名〉¥〈ユーザーID〉 の形式でユーザーID を指定すると、多重ログオンの禁止機能が働かない。

説明

現在の GGEasyMonitor では、多重ログオンのチェックをユーザーID のみをキーとして行っているため、〈ドメイン名〉¥〈ユーザーID〉 の形式でユーザーID が指定された場合、多重ログオンの禁止機能が働きません。GraphOn 社が提供する API ではセッションのドメイン名を得ることが出来ないため、多重ログオンのチェック時にドメイン名を無視する機能（ユーザーID のみでチェックする機能）をバージョン 2.2.1 で追加しました。この機能の設定項目は下記の通りで、既定値は YES です。

```
； cbkIgnoreDomain: 多重ログオンのチェック時にドメイン名を無視する (YES/NO)
cbkIgnoreDomain = YES
```

補足

GraphOn 社が提供する API ではドメイン名を取得することは出来ませんが、別の方法としてセッション上で動作する GGEasyMonitorClientInfo.exe でドメイン名を取得し、その情報を GGEasyMonitor へ反映する方法をバージョン 2.2.2 で追加しました。この機能を有効にするには、GGEasyMonitorClientInfo.exe の設定ファイルで下記項目を指定して下さい。なお、この機能を指定した場合は、必ず cbkIgnoreDomain = NO を指定して下さい。

```
includeDomain = YES
```

この機能を有効にした場合、振分け機能ではドメイン指定が必須となりますので、ドメイン未指定時にドメインを自動的に付加する機能も併せて追加しました。この機能の設定項目は下記の通りです。

```
cbkDefaultDomain = 〈ドメイン名〉
```